

おしどりミニだより

社会福祉法人 近江ちいろば会
デイケアの家おしどり
地域密着型デイサービス



OMI CHIROBAKAI

2019年1月吉日

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は誠にお世話になりました。本年もご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

「あ~やっとここに来られた」とお仲間との再会を喜んでくださっています。今年もその方の個性を大切に、おしゃべりして、笑って、笑顔の絶えない一年でありますようにと職員一同願っています。



法人理念 「人にしてもらいたいと思うことを人にもしなさい」

おしどりテーマ 「一人ひとりを大切に」

「生活リハビリ」

10月よりおしどりの皆さんとハンドベルに挑戦しています。「ハンドベルって何?」「どんな風に持つの?」「どうやったら音が出るの?」

ハンドベルという楽器を知らない方が多い中、とにかく手に触れて頂きました。

「すごいすごい。音出たで。御詠歌の鐘みたいやなあ。あっはっは一」

まず最初に挑戦したのは「きらきら星」という曲でした。楽譜もおしどり特製色音符を皆さんと作りました。積極的に取り組む方、やってみたいけど自信がない方、それぞれの思いを持ちながら手に取って音を出してみると「おお~なかなかいい音が出るやん」「あんた上手やなあ」「私の音、小さいかなあ?」口々にたくさんの方が聞こえます。音を鳴らせることが嬉しく、楽しく満面の笑顔、真剣で慎重な顔、出来るかなあと不安な顔、たくさんの方が見られました。

一人ずつ音色を決めていざ始めると「私何の音やった?」自分の番が来てもきれいな音に聞き惚れて自分の番が来たことをうっかりしてしまう方、緊張しすぎて音が出せない方いろいろありますが、それでもやってみようという気持ちが強く、やめておくという言葉はありませんでした。毎日、仲間とともに曲を奏でる

ハンドベルを奏でて

楽しい時間を喜んで下さっています。

楽器を鳴らすのは認知症予防に効果があると言われています。音楽が人に与える影響は本当に大きいと私たち職員も改めて感じ、利用者さんと一緒に感動の時間を頂いています。「きらきら星」「お馬の親子」「きよしこの夜」とレパートリーも増えてきました。これからも皆さんと楽しんで奏でながら、次は小さくてもコンサートをして少しでも多くの人に聞いてもらうという夢に向かって腕を上げていきたいと思えます。





「食べることは生きること、生きることは食べること」

生きていくために欠かせない大切な命をつなぐ食事づくり、
切る、炒める、煮る、盛り付ける
生活の中で培われた力を皆さんが発揮して下さっています。

生活リハビリ

生活リハビリは、自立・自律支援を目的としています。おしどりでは、今出来ることを見つけて経験し、自宅に帰っても同じようにできることが自立・自律支援だと考え、日々の取り組みとして大きな時間を使っています。おしどりでは、この生活リハビリによって、人生に夢や希望を見出し「生きる」力を持っていただきたいと云う願いを持っています。



「ゆず茶は風邪予防にもいいんだよ」



「これ見てみ〜!!こんな立派なだいこんとれたで〜」



今、おしどりの庭は山茶花(さざんか)の花が満開です。「この山茶花はきれいやなあ〜みごとや!」皆さんが口々に言ってくれます。

そして・・・地面に落ちた花びらをきれいにしておこうと、たびたび力をかけてくださいます。

畑で育てた野菜が大きく実りました。大根、白菜、日野菜、ネギ、菊菜、レタスなどなど。収穫したものは昼食の材料になりました。

大根煮、ゆず大根、ゆず茶、豚汁等...

皆さんと一緒に作ると会話も弾み美味しいものがより一層おいしく仕上がりました。大地の恵みを頂き皆さんの顔が生き生きしています。職員も力をもらっています。

